



THE Y' S MEN' S CLUB OF SENDAI HIROSEGAWA

仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2015年3月号ブリテン 通算第46号 2015.3.18



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町 9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 F A X 022-222-2952

Email:ckj01150@rio.odn.ne.jp 書記 佐藤 剛

H P : http://www18.ocn.ne.jp/~sendaiys/sendaiys.html

第1例会：毎月第3水曜日・第2例会：毎月第1火曜日 仙台YMCA 18：45

2014-2015年度 主題 (Theme)

国際会長	Isaac Palathinkal (インド)	"Talk less, Do more" 「言葉より行動を」
アジア会長	岡野 泰和 (大阪土佐堀)	"Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
東日本区理事	田中博之 (東京)	「誇りと喜びを持って」
北東部部長	大久保知宏 (宇都宮)	「一体となって一歩前に」 ～楽しく、楽しく、楽しく～
クラブ会長	門脇 秀知	「ワイズの強みは“つながり”です」 ～お互いに支え、支えられている～

2014~2015年度 クラブ役員

会長	門脇 秀知	地域奉仕	吉田俊一 阿部 松男	ユース	佐藤 善人
副会長	堀越 祥浩	CS		YMCAサービス	清水川 洋
書記	佐藤 剛	会員増強	菅野 健 布宮 圭子	ドライバー	加藤 研
会計	高篠 伸子	EMC	及川 浩美	メネット会長	松本 京子
直前会長	門脇 秀知	国際交流	伊勢 文夫 村井 伸夫	ブリテン	本野日出子
監査	伊勢 文夫	DBC	井上 恵子	担当職員	佐藤 健吾

今月の聖句

吉田 俊一

「するとイエスは、『はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる』と言われた。」

ルカによる福音書 23章 43節

巻頭言

震災から地域活動へ

佐藤 善人 (次期クラブ会長)

私がワイズ、YMCA活動に実際に触れたのは東京から仙台に帰って、仙台青葉城クラブに入会してからです。

それから何年経ったかわかりませんが、東日本大震災が起き、その時できた広瀬川クラブに転会し現在至っています。だが震災から四年たった今日、本当に地域活動は何かと考えなければならない時期にきたのではないかと思います。皆さんが震災からなにかを学んで目の前にある地域活動に生かしてほしいと思います。

クラブ活動がクラブに活気を与えてくださいと願うばかりです。



2月第1例会報告

在籍者	18名	出席者	10名	メイキャップ	4名	出席率	77%
メネット	名	ゲスト・ビジター	1名	ニコニコ			10000円

【2月第1例会報告】

日時： 2月18日（水） 18:45～21:00
場所： YMCA会議室
出席： 阿部・伊勢・加藤研・門脇・菅野・佐藤剛・堀越・
本野・村井・吉田

ゲスト：東北学院大学硬式野球部監督 菅井 徳雄氏

2月第1例会はゲストスピーカーに東北学院大学硬式野球部監督の菅井徳雄氏(写真)を迎えた。

菅井氏は名門仙台商業野球部から東北学院大学硬式野球部に進まれた。卒業後は大学に勤務され、現在は硬式野球部監督として学生の指導にあたっておられる。

東北学院大学硬式野球部といえば何といても西武ライオンズに入団し、今はパリーグを代表する岸投手である。

菅井氏の野球に取り組む考え方などをお聴き出来た。

<スピーチ要約>

東北学院大学硬式野球部は東北で最も伝統があり、常に東北のトップにいたチームであったが、仙台六大学リーグ戦がスタートすると多くの大学が優秀な高校生の勧誘・設備の整備・活動資金の援助などの面で野球部に力を入れ始めた。

東北学院大学はそれらの面で遅れをとり、私が監督に就任した頃はトップの座を譲るチームになってしまい、部員も現状に甘えている状態であった。

監督として最初の苦労は如何にして部員の意識を変えるかという点であった。すぐには変えられなかったが、共に活動する中で、少しずつではあるが部員の中に変化が芽生え始めた。変化の到着点はあの岸投手の出現であろう。無名であった岸投手(写真)は大学3年になって大きく羽ばたいた。今は、岸投手を憧れて入部する高校生も多く、将来を期待できる選手も着実に育ってきている。

ニコニコは 10000 円。



【3月第2例会報告】

日時： 3月3日（火） 18:45～21:00
場所： YMCA会議室
出席： 阿部・伊勢・加藤研・門脇・菅野・佐藤善・高篠・
本野・松本・吉田

報告協議事項

- ① 2/19（木）仙台青葉城クラブ35周年記念例会
参加：伊勢・加藤・菅野・門脇・佐藤善・堀越・
村井
- ② 2/28（土）(仮)石巻広域ワイズメンズクラブ
第1回設立準備委員会開催（参加：門脇）
- ③ 3/8（日）「揚がれ！希望の風」開催 参加案内
- ④ 3/13（金）ボランティア感謝会
- ⑤ 3/14-18 国連世界防災会議関連シンポジウム
「災害から尊い命を守るために」
9:30～11:30 基調講演
（市民活動サポートセンター 6F）
13:30～15:30 防災ウォークラリー（西公園）
- ⑥ 東日本区大会 物品販売申込について
- ⑦ 西宮クラブより盛岡YMCA（宮古ボランティアセンター）への支援募金要請について（DVD有）
- ⑧ 東日本区大会と金沢クラブ訪問について
- ⑨ 3月の行事予定について

【次期会長研修会】



次期会長研修会に出席して

講義と、主任の次期にやり方を何組に分かれて聴いたり質問をした。懇親会では部長を囲んで話しあい、楽しいひとときを過ごした。翌日は全体会議、次期理事の報告に質問が出され、次期は部長、部主査の役割が重要であることが確認され研修会が終わりました。

次期会長 佐藤善人

【仙台YMCA第31回ボランティア感謝会】

3月13日、大震災以降の厳しい環境の中、ボランティアリーダーとして活動された卒業生に加藤委員長（写真）より認証状が授与され、感謝状と記念品が贈られた。春季リーダー委嘱状交付（写真）も行われ、先輩と後輩リーダーが楽しく語り合う場面が見られた。広瀬川からは門脇・菅野が出席した。



旅立ちの春

お元気で ご活躍を お祈りします

【2014年度国際ホテル専門学校卒業式】

—3月12日、ホテルメトロポリタン—
礼拝（写真）に引き続き32名の卒業生に卒業証書と表彰状が授与された。謝恩会にはYMCA役員・講師も参加して、講師のお働きに感謝し卒業生の前途をお祝いした。



【那須クラブ設立20周年記念感謝例会】

3月14日 アジア学院

記念例会は来賓・ゲスト・北東部各クラブ・アジア学院スタッフ・那須YMCAユースリーダー、全国から総勢70名の方々がお祝いに駆けつけてアジア学院を会場にして開催されました。

（広瀬川からは菅野が出席）

那須クラブは決して大きいクラブではありませんが地元大学生をユースリーダーとして育成し、リーダーと協働して活動資金されています。一方では国際規模で農業指導者に研修の機会を与えてきたアジア学院とも強い結びを維持されてきました。

特に、20年にわたり田村会長の発案で植林活動を続けてきたことなどはワイズメンズクラブの一つの生き方として大いに評価されるクラブであります。記念例会では東京の目黒クラブとDBCが締結がされました。

目黒クラブもまた小規模なクラブであり、同規模なクラブ同士が手を携えてのこれからのDBC活動は大いに期待されることでしょう。

20周年おめでとうございます

那須クラブのますますのご発展をお祈り申し上げます。



クラブ設立に貢献された那須クラブ田村（中央）会長と宇都宮クラブ十河（左）メンによるケーキ入刀

編集後記

4年前と同じように小雪の舞う寒い11日を迎えました。まだまだご苦労されている方々がおられることを忘れないようにしなければいけません。 H. H